

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/01/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.73	0.03
JPY/THB	0.2422	0.0017
USD/JPY	147.51	-0.84
EUR/THB	38.89	0.14
EUR/USD	1.0885	0.0031
USD/CNH	7.162	-0.005
SGD/THB	26.67	0.06
AUD/THB	23.50	0.02
USD/INR	83.13	-0.03
USD Index	103.24	-0.38

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.420	0.002
10Y (THB)	2.707	-0.036
5Y (USD)	4.089	0.050
10Y (USD)	4.176	0.048

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,016.0	-9.8
WTI (Oil)	75.09	0.72
Copper	8,562.5	157.5

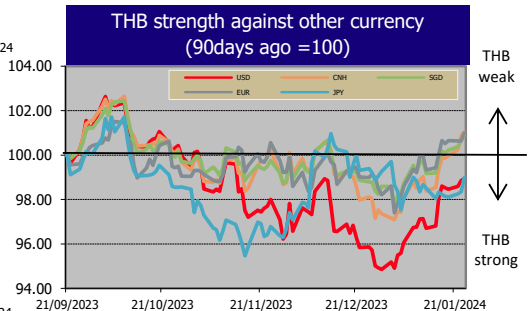
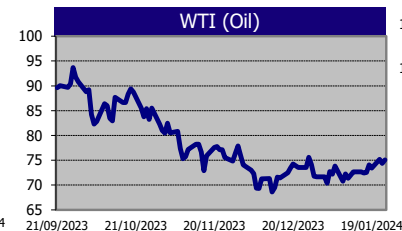
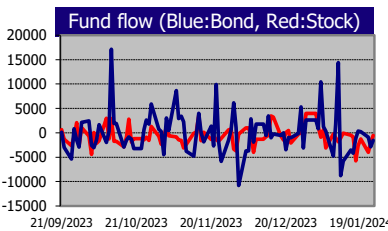
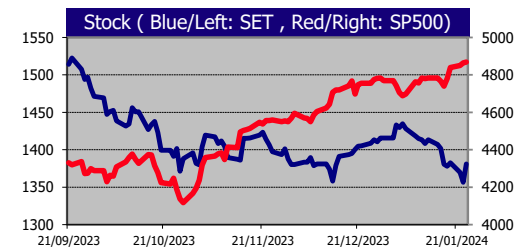
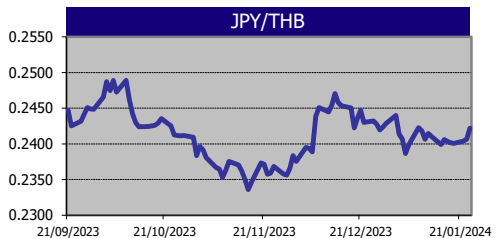
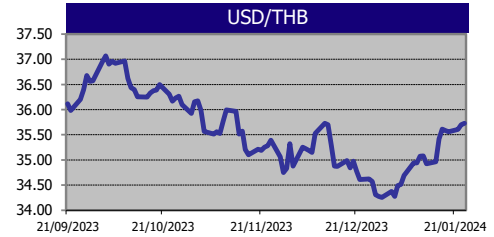
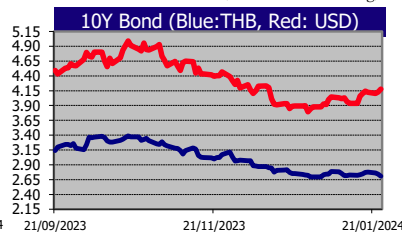
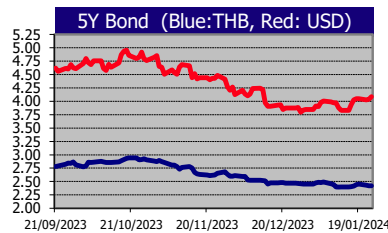
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,381.19	24.65
NIKKEI (JP)	36,226.48	-291.09
DOW (US)	37,806.39	-99.06
S&P500 (US)	4,868.55	3.95
SHCOMP (CN)	2,820.77	49.80
DAX(GER)	16,889.92	262.83

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(571)	1461.8
Bond net flow	(1,529)	1365.9

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツはほぼ変わらず。35パーツ台後半で取引を開始すると、米金利高止まりの可能性が意識され、アジア通貨がドルに対し総じて軟調な推移を見せる中、ドルパーツも上昇。セタブット・タイ中銀総裁とセーター・タイ首相による同国金融政策、及び経済状況の認識についての報道がそれぞれ出され、両者の認識の違いが改めて確認されたこともあってか、ドルパーツの上昇は相対的に大きなものとなった。ただ、上昇が一服すると米金利が低下基調となっていたこともあってかドルパーツも下落に転じ、一時35パーツ台半ば付近まで下落。その後発表された米経済指標が堅調な結果であったことから、終盤にかけては値を戻し、オープンとほぼ同水準となる35.73レベルでクロースを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。148円台前半で取引を開始。前日の日銀金融政策決定会合後の植田総裁の会見を受けて、マイナス金利解除観測が強まる中、ドル円は上値重く推移。米金利が低下基調で推移していたこともあってか海外時間には一時146円台半ばを付ける場面を見せた。ただ、1月S&P米国グローバル製造業PMI、サービス業PMI、コンポジットPMIがそれぞれ市場予想を上回る結果となったことが確認され、ドル買い優勢の地合いとなり、147円台半ばまで反発。そのまま147.51レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨年後半から日米株が好調な裏で中国株が沈んでいる。今週久しぶりに上海にいる中国人の友人から連絡があり、報道通り本土では中国株を売って日本株を買う動きが今のトレンドだと聞いた。背景には中国の厳しい経済状況と、それに対する政府の打ち手が不透明なことへの不信感があるようで、中国株安のトレンドは早々には転換しない可能性に留意が必要だろう。今週、中国当局は株式売り越し規制(株を買った以上に売れない)の対象を大手投資信託会社から一部の保険会社にも広げるとしたほか、41兆円規模の株式支え策を検討すると打ち出し、そして昨日は中国人民銀行が預金準備率の引き下げを発表した。しかしながら投資家が期待しているのは経済問題への根本的な対策であり、相場介入や金融政策だけでは株式市場の反転は一時的なものに留まる公算が高い。中国株からの逃避は人民元の下落を誘発するものであり、人民元の下落は周辺アジア国通貨安にも繋がる。当局が株式相場への対策を強める背景も元安防止が狙いと思われるが、今週の動きを見ている限りでは、中国からの資金流出が長引く展開も想定しておく必要があるようだ。本日はECB、来週はFOMCと足許は主要国中銀会合の動向が相場のメインテーマとなろうが、加えて中国当局の動きからも目が離さなくなってきた。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.